



FRIENDS

山梨県立かえで支援学校相談・支援部通信 第67号〈平成30年3月発行〉

♪「フレンズ」は、かえで支援学校の校歌(杉本竜一氏作)です。本校HPにてお聴きください。

今年度の教育相談・訪問支援等の状況

相談支援の内容・支援先	幼稚園保育所 (幼児)	小学校 (小学生)	中学校 (中学生)	高等学校 (高校生)	その他 特別支援学校・ 病院・研究組織等
教育相談・学校見学 (メール・電話も含む)	23 (31)	6 (16)	21 (42)	0 (0)	1 (4)
訪問支援	55 (127)	103 (63)	16 (15)	0 (0)	0 (0)
研修支援	0 (0)	8 (5)	0 (4)	0 (0)	5 (5)
個別授業体験	5 (3)	6 (9)	5 (8)	0 (0)	0 (0)



*人数と回数は、延べ数。()は28年度の数字。オープンスクール、夏休み授業体験会の参加人数は含まれていない。

*甲府市立保育所の巡回相談が、3月にあるため幼児は10人程度増加が見込まれる。

傾向その1 (教育相談の減少)

来年度の中高等部への入学希望者が例年より少ないため、教育相談が少なかった。小学部入学希望者の内、オープンスクールや夏休みの授業体験会、市教委との相談で決定した方も多く、個別の教育相談をされない方もいたため数が少なくなっている。高等部も本校単願の者が多かったことが、この件数の減少に影響している。

傾向その2 (進路指導に関して)

高等学校が特別支援学校を検討していた生徒は2人いた。2人とも実態的には特別支援学校の対象であると思われたが、本人以上に、保護者が高等学校へ行かせたいという気持ちが強かった。様々な情報を知り、気持ちや考えを整理するには時間が必要となってくる。中3になってからでなく、より早い段階での進路指導をお願いしたい。

高等部・高等学校に進学しない場合でも、市の保健師等と連携し、家族や本人が学校を離れても相談できる体制を小中学校から、作っていただきたい。

傾向その3 (対象児童生徒とその子を含む学級の指導や授業づくりの相談の増加)

園や学校への件数は減少しているが、小中学校で特に行動の気になる児童とその学級の他の児童との関係や学級づくり、授業づくり等の相談が多かったため、児童数は非常に増加している。また、中学校は学習不振の相談が多く、発達特性と合わせて学力向上や学習意欲に関する相談が増加した。中学校は数字上は昨年度とほぼ同じであるが、実際相談時に名前が挙がった生徒を加えると43人になる。



傾向その4 (継続相談や困難事例の増加)

小中学校の相談 156 人の内 40 人は継続相談である。(昨年度からの継続も含む) その中には、複数の関係機関と連携しても改善が難しいケースもあり、家族を含めた支援が必要なケースも更に増加している。進路指導とも関連するが、学校だけで抱え込まず指導や支援していく必要がある。困難ケースはすぐに成果を得る事が難しいので、定期的な相談や直接担当する者のフォローや関係者の役割分担等が必要となり、それをコーディネートできる更なる専門性の向上も必要とされる。

傾向その5 (ユニバーサルデザインの授業に関する研修会の依頼の増加)

小学校への研修支援は、ユニバーサルデザインの授業づくりに関するものが多かった。

個別の支援だけでなく、学級全体への効果的な支援に対する意識の高まりが感じられた。

傾向その6 (外部専門家活用について)

小学校では通級指導教室でST(言語聴覚士)の活用は定着してきたが、OT(作業療法士)、PT(理学療法士)の活用は少なかった。更に支援内容の周知が必要と感じる。



P T等外部専門家の活用の実施状況（地域）

心理士 （本校配属） 小学校1校1回 2人 中学校1校1回 2人 合同学習会 1回	S T<言語聴覚士> （本校配属） 通級指導教室8校10回 幼稚園1園1回 3人 合同学習会 1回	P T<理学療法士> （他校から派遣） 幼稚園1園 2回 研修会・個別支援 小学校1校 学級の見学と個別支援	O T<作業療法士> （他校から派遣） 通級指導教室2校各1回 小学校1校1回 1人 保育所1所1回 3人
---	--	--	--

主な相談内容

心理士への相談

- 暴力や暴言が目立ち、学習ができない。集団参加ができなくなってきた。
- 友達との関係が作れず、大きなトラブルになってしまう等
- *行動の背景を知り、関わる時の基本的な姿勢や具体的な対処法の助言をもらった。



*相談内容は同じでも実態やその行動の背景は異なるので、児童生徒の行動観察や担当への聞き取りを基に、助言をもらっています。

P Tへの相談

- 園の保護者会や通常の学級で、「姿勢」に関して講義をしてもらった。その後園では保護者との面談、小学校へは児童への個別支援を行った。



S Tへの相談

- 発音が不明瞭である。聞き取れないことが多い。
- 歯間化構音の指導について
- 音の置換がある。
- 口蓋裂の手術をしたが、その後の具体的な指導について聞きたい。
- 吃音がある。



O Tへの相談

- 感情のコントロールが難しい。
- 物に強い力で叩いたり蹴ったりしてしまう。
- 全身がグニャグニャしている。
- 製作が苦手で拒否している。
- 階段の上り下りが不安定。



来年度のオープンスクール・夏休み授業体験会

第1回 オープンスクール

平成30年6月13日（水）AM

*小学部・中学部への進学を検討している方 対象

<主な内容>

- ・学校説明、教育相談について
- ・授業見学
- ・学校施設の見学



*当日、個別の相談はありません。

第2回 オープンスクール

平成30年7月3日（火）AM

①高等部への進学を検討している方

②医療、保健、福祉、就労等

関係機関の方 対象

<主な内容>

- ・学校説明（①②別に行います）
- ・入試についての説明
- ・授業見学
- ・学校施設の見学

*桃花台学園への進学希望の生徒も、本校の見学をして進路決定の参考にしてください。

夏休み授業体験会

平成30年8月18日（土）AM

<内容>

各学部の授業体験

<対象児生>

本校入学を検討している年長児、小6児、中3生

*当日、本校の児童生徒は登校していません。

本校の教員が通常の授業を行い、体験していただきます。

*桃花台学園が第1希望の生徒も是非参加してください。



山梨県立かえで支援学校
相談・支援部（飯嶋）

◆◆◆ この通信に関するお問い合わせ ◆◆◆
甲府市東光寺2-25-1

TEL 055(223)6355 FAX 055(223)6356
E-Mail sodan@kaedey.kai.ed.jp